

竜巻注意情報の改善について
～より精度良く、対象地域を絞り込んで発表します～

気象庁では、本年12月15日(木)より、最新の科学的知見や新たな観測データの活用等により、竜巻注意情報の精度向上を図るとともに、竜巻注意情報の発表区域を細分化します。長野県では、北部、中部、南部に細分して発表します。

気象庁では、竜巻のメカニズムに関する研究や竜巻等の突風発生後の現地調査等から得られた知見を活用し、竜巻注意情報の改善に向けた技術開発を進めてきました。

今般、これまでの竜巻に関する調査研究等から得られた最新の科学的知見や、国土交通省高性能レーダ雨量計ネットワーク(XRAIN)による観測データの一部を新たに活用することにより、本年12月15日(木)から、竜巻注意情報の精度向上を図るとともに、竜巻注意情報の発表区域を、現在の県単位から「県南部」などの天気予報と同じ区域に細分化します。

長野県でも天気予報と同じ区域の、北部、中部、南部に細分して発表します。

なお、本件は、平成25年9月の竜巻災害を踏まえて開催された「竜巻等突風対策局長級会議」()の検討報告(平成25年12月26日)を受けた取組の一環です。

【竜巻注意情報(気象庁ホームページ)】

<http://www.jma.go.jp/jp/tatsumaki/>

竜巻等突風対策局長級会議(内閣府ホームページ)

<http://www.bousai.go.jp/fusuigai/tatsumakikyokucho/h25.html>

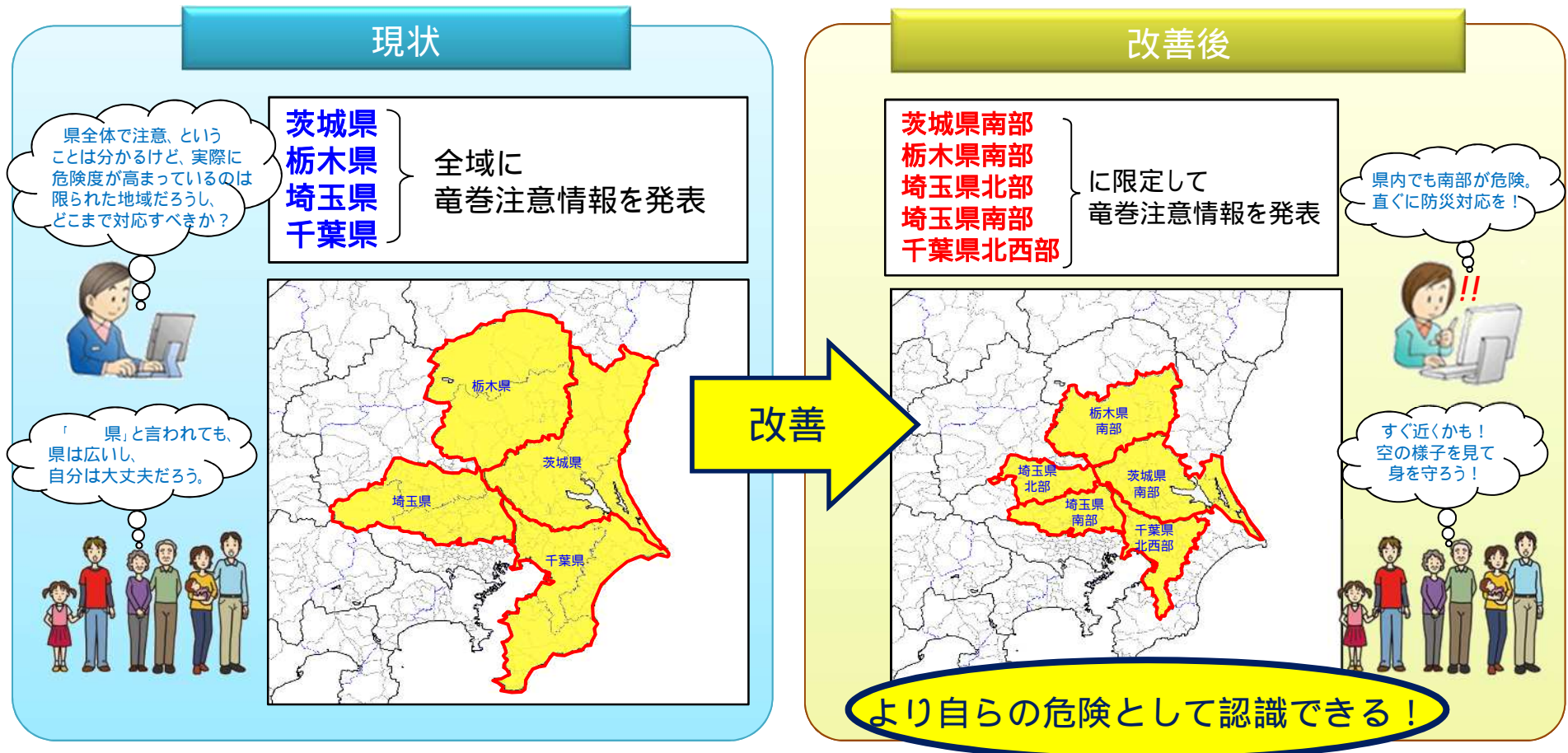
竜巻注意情報の発表区域の細分化

～ 竜巻注意情報を“天気予報と同じ細分区域”に地域を絞り込んで発表します～

現 状 竜巻注意情報を“概ね県単位”で発表

今 後 竜巻注意情報を「**県南部**」などの“天気予報と同じ細分区域”に地域を絞り込んで発表

- ・住民にとって、竜巻注意情報をこれまで以上に自らの危険として認識できるようになる。
- ・「空の様子を見て身を守る」などの安全確保行動につながる。



過去事例における改善の効果の例

竜巻注意情報を、より早く、より精度良く、発表が可能に！

年月日 発生時刻	発生場所	実際の発表状況	改善後
2013年9月2日 14:00 頃	埼玉県 さいたま市	埼玉県に 14:10頃に発表 (発生の10分後)	埼玉県南部に 13:50頃に発表が可能に (発生の10分前)
2013年9月4日 12:50 頃	栃木県 塩谷町	栃木県に 12:47頃に発表 (発生の3分前)	栃木県北部に 12:20頃に発表が可能に (発生の30分前)
2013年9月16日 01:30 頃	埼玉県 滑川町	発表できず	埼玉県北部に 01:00頃に発表が可能に (発生の30分前)

【参考】改善による予測精度の変化

予測精度
捕捉率:約40%
適中率:約 3%

(府県単位での発表)

精度改善



捕捉率:約70%
適中率:約14%

(天気予報と同じ地域単位での発表)

改善後の値は過去事例データ(平成24.4-26.9)による検証値